

「サッポログループ プラスチック方針」を策定 事業活動で使用するプラスチックの削減などの取り組みを加速させ、 循環型社会の構築に貢献します

サッポロホールディングス（株）は、持続可能な社会の実現にむけ「サッポログループ プラスチック方針」を策定しました。

サッポログループでは「大地と、ともに、原点から、笑顔づくりを。」というサステナビリティ方針（注1）を2019年に掲げ、サステナビリティ重点課題への取り組みを通じ、持続可能な笑顔づくりを推進しています。サステナビリティ重点課題のひとつである「3R（注2）の推進」では、その一環として2019年には容器包装ビジョン（注3）を策定し、2050年までに循環型社会に対応した容器包装に100%変更していくことで容器包装による環境負荷低減を目指しています。

今回策定した「サッポログループ プラスチック方針」は、その取り組みを加速するとともに、グループの事業で使用する容器包装以外のプラスチックにも対象を広げ、より具体化するものです。

【サッポログループ プラスチック方針】

サッポログループでは、持続可能な社会の実現に向けて、事業活動で使用するプラスチックについて以下のステップで検討・取り組みを進め、循環型社会の構築に貢献します。

- ① プラスチックの使用場面を見直し、不要な使用をなくします
- ② 減量化等の削減に取り組みます
- ③ リサイクル性の高い設計や、再生材・バイオマスプラスチックに転換します

＜参考：サッポログループ各社主な取り組み＞

サッポロビール株式会社

- ・2030年までに化石燃料由来のワンウェイプラスチック製広告品類を国内で原則廃止する。（注4）
- ・2030年までに国内製造ワインのペットボトルへのリサイクル原料の使用割合50%を目指す。（注4）

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

- ・2030年までに販売するペットボトル商品においてリサイクル原料の使用割合50%を目指す。（注5）

株式会社サッポロライオン

- ・プラスチック製ストローは紙製ストローに順次切り替える。

（注1） <https://www.sapporoholdings.jp/csr/plan/>

（注2） Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の3つのRの総称。

（注3） <https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=8479>

（注4） https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000013843/

（注5） https://www.pokkasapporo-fb.jp/company/news/release/210319_01.html